

茅野版DMO(観光を活かしたまちづくり事業の中核組織) をつくっていきます!

茅野市では、2018年の「茅野版DMO」法人の設立をめざして活動しています。

【茅野版DMOとは】

「DMO」は、全国で設立がすすめられている、『観光地経営』の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる公益的な法人組織です。

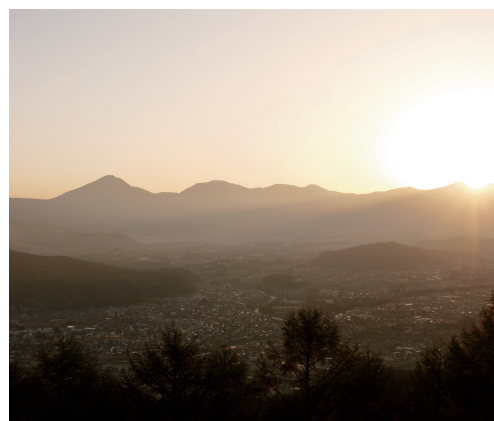
観光を手段として、**地域の「稼ぐ力」を引き出し**、地域を**持続可能なまちとしていく**ことをめざしています。

茅野市ではその先駆けとして、観光地域づくりによる地方再生モデル創りをめざします。

【「観光を活かしたまちづくり」とは】

DMOが先導し、地域のあらゆる産業と人が一丸となって、**「茅野の魅力」を再発見し**、魅力的な旅行商品として**磨きあげて発信する**ことで、観光によって地域の経済を活性化させます。

同時に、**「茅野のファン」を増やし**、観光客だけでなく、移住希望者や、別荘などの二拠点居住者にとっても魅力的なまちをつくっていきます。これにより、**担い手不足を解消し**、茅野を持続可能なまちにすることが、DMOの最終目標です。



【具体的な活動イメージ】

ブランディング広報

100年後も残したい茅野の魅力を発掘し、世界に愛される観光地域ブランドをつくり、伝える。

観光ワンストップ窓口づくり

「泊まる・食べる・過ごす」を提案できる、コンシェルジュ機能をもった窓口をつくる。

滞在交流プログラム等の開発

茅野を味わう「体験」や地域の人との「交流」プログラムをつくり、旅行商品として提供する。自然体験、農業体験、歴史・文化・商工業など。

マーケティング事業

適切な情報収集と分析により、リピーターを増やすためのフィードバックやターゲットを定めた戦略づくりをおこなう。

【別荘を利用される皆さまの役割】

茅野市には約10000戸もの別荘があり、別荘利用者は昔から茅野市の文化の一翼を担ってきました。別荘もまた、茅野市の地域資源のひとつであり、茅野市が一丸となっておこなうDMOの取り組みには、**別荘を利用される皆さまのご協力・ご意見が不可欠です。**

たとえば、より深く「茅野の魅力」を味わうために、別荘利用者向けのプログラムに参加したり、あるいは自身が「まちづくりの担い手」として、都会の人向けの体験プログラムづくりに携わるなど、さまざまな面で関わっていただきたいと思います。

100年後も胸を張れる茅野を、ともにつくっていきましょう!

問 観光まちづくり推進室 ☎72-2101 (内線451)